

## 財務 VOL.6

## 生命保険を見直して節約をしましょう: 前編

### 【お金を残す簡単な方法があります】

これまで「利益がでているのにお金が残らない」その原因である「経費にならない支出」についてお話をいたしました。

そして、今号からはプライベートな部分ではありますが、「生活費」という部分にスポットを当ててみたいと思います。

とりわけその中でも生命保険の見直しがお金を多く残すには効果的で、且つ簡単に行える選択肢のひとつなのです。

生命保険を見直して、よりお金を多く残せる体質を作りましょう!!

### 【生命保険に入る目的は何ですか?】

生命保険の見直しについては、よく聞く話ですので、皆さん一度はご経験があるかもしれません。

さらに、「生命保険は必要なものだから削るべきではないんじゃないの?」「しかも大抵は保険の売り込みだからむしろ保険料が増えるんじゃない...。」といった声もあるかと思います。

しかし、そんなことはありません。

そもそも生命保険とは、先生が万一の場合に、残されたご家族が生活していける“最低限必要な保障”を得る為に加入するものですね。

ところが、多くの先生方は、必要最低限という言葉とは程遠い多額な保障の保険に加入しているという事実をご存知でしょうか?

「けれども、多額の保障があるとその分多額の保険金ももらえるから別に良いのでは?」という考え方もありますが、ご家族に多くの保険金を残す為に保険に加入するのでしょうか?

本来の目的は“最低限必要な保障”を得る為ですね。

この“最低限必要な保障”という考え方に沿って保険を設計することで、そこに節約の余地が生じるのです。

「いや違う。万一の事があった時に、家族にはお金の不自由のない暮らしを保障したいのだ」という考えで多額な保障の保険に加入されている方もいるでしょう。お金の余裕のある人でしたらそれでも良いと思います。

しかし、今資金繰りが苦しいのであれば、保障は最低限にして保険料を削るべきです。資金に余裕が出来るようになれば、また保障を多額にするなり手を打てばよいのですから。

つまり、この“最低限必要な保障額”というものが保険金額の理論的な目安であり、この見積りを出来る限り正確に行うことが非常に重要なのです。

### 【“最低限必要な保障額”とは】

では、その“最低限必要な保障額”とはどのように見積るのかを簡単にご説明いたします。

まず、先生が万一の場合に、借入金の返済やご家族が生きていくための生活費等といった**確実に必要となるお金**を計算します。次に、年金や奥様が働くことによる給与収入等の**将来入ってくるお金**を計算します。

そして、**確実に必要となるお金**から**将来入ってくるお金**を差し引いたものが**万一の場合に足りないお金**であり、それが“最低限必要な保障額”なのです。

生命保険の加入時に、家族構成や奥様の資格、年金の加入状況等を聞かれたことがあるかと思います。それらの情報をお伺いするのはこの保障額を見積るためなのです。

しかし、多くの保険プランナーが見積っているのは先生方にとって必要な保障額ではなく、プランナーが売りたい保険にとって都合の良い保障額になるように見積っています。ですので、プランナーを信じて保険に加入されると不必要に高額な保障の保険に加入させられる羽目に...

### 【大幅に保険料が減る事も...】

以前に、資金繰りが苦しいと個人医院のA先生からご相談頂き、保険の見直しをすることになりました。すべての保険証券を見せていただいたところ、3本の終身保険に加入しておられ、死亡保険金総額は2億円、月額なんと43万円もの保険料を支払っておられました。

必要な情報を伺い必要な保障額を見積ったところ、既契約の保険はやはり過大な保障金額となっております。そして、その保険を適正な保障額にする為に、終身保険はすべて払済保険に変更し、月額2万円の収入保障保険という時の経過とともに保障金額が減少する保険へ新たに加入して頂いたところ、トータルの保険金額は以前よりも減ることとなりましたが、月々の支払が43万円から2万円となったので、なんと**月額41万円、年間では約500万円**もの節約が出来るようになったのです。

A先生のように、大幅な節約が出来る例は非常に稀ですので、すべての先生がこれほどの節約が出来るわけではございません。しかし、見直しを行った結果、節約可能となったケースが非常に多いというのが現実です。

先生の保険は“最低限必要な保障”になっていますか?

日本最大級の社長動画サイト「賢者.tv」に代表の岡本英敬が登場! (<http://www.amcp.biz>)

### おしらせ

紙面の都合上、簡単な説明のみとなりましたが、次号では“最低限必要な保障”の具体的な計算方法をご紹介します。**「保険が“最低限必要な保障”になっているのかチェックして欲しい」**等のご要望がございましたら、**倶楽部会員専用メールアドレス**にてお問合せ下さい。また、**「具体的な相談に乗って欲しい」**というご要望がございましたら、「**無料経営相談**」をお申込み下さい。詳しくは、<http://now.amcp.biz> をご覧下さい!